

「公共交通」という時間に対してシビアな題材を扱っているためか、東京のりもの学会のジャンルには時間をきちんと守ると申しますか気が早い方が多く見受けられるように思われます。毎回数人のサークル参加者の方が開場・設営開始時間である朝9時よりも早い時間に到着しているため、私は毎回その30分ぐらい前には会場に到着するようにしています。一般参加では徹夜組が出る程ではないにしても、それでも毎回11時の開会の時点で数十人規模の一般入場列が発生しているということはサークル参加者の方であればご存じのことと思います。



開場前の2階展示室前  
(写真はいずれも2006年5月6日撮影)

第038号

**展示室開扉証**

QDAT 木下 殿

入室日 平成19年5月4日  
入室予定時間 9時00分  
使用展示室 2階 側

貴殿がご利用になる展示室は、この証の提出によって開閉します。  
平成19年4月13日  
東京都立産業貿易センター浜松町館館長

入	(入室日時)				入
室	平成	年	月	日	時
記					分
録					分
					分
					分
					分

(裏面の注意事項をお読みください。)

都産貿では会場使用料を入金し、全ての必要書類を提出すると左のような「展示室開扉証」が発行され、当日はこれを警備員室に提出する事で解錠・開扉が行われます。この開扉の手続きは私が行う事が多かったのですが結果的に職員

の方を除けば私が最初に展示室に入る事になるのですが、何もなく広々と感じられるこの688㎡の空間に明かりが点りつつある様子を目にする時の期待感・高揚感はそのまでの準備の疲れを吹き飛ばす程のものがあります。

また、イベントが終了し撤収・清掃が終わると、警備員室に申し出て展示室内の確認がなされ、そして施錠となります。ガラスの向こう側に全てが終わり暗くなった展示室を見る時に、イベントが無事に終わったという安心感と充実感を感じさせられるものです。

願わくば、この開扉時の期待感・高揚感、そして施錠時の安心感・充実感を、他の方にも感じていただきたいと考えます。

次に東京で「公共交通・旅行系 Only 即売会」が開催される時、この開扉証を手に入れているのは、この文章を読んでいるあなたかもしれません。

2007.5.4 重野 誉敬



職員の手により解錠されます。展示室内はまだ暗い。



開場直後の展示室。